

教育委員会事務の点検・評価報告書
(平成22年度対象)

平成23年9月
萩市教育委員会

■ 目 次

1 萩市学校教育の基本方針	・・・1～2
2 教育委員会事務の点検・評価について	・・・3
(1) 趣 旨	
(2) 点検・評価の対象事業	
(3) 点検・評価の方法	
(4) 点検・評価の結果	
3 平成22年度事業点検・評価について	・・・3
<事業点検・評価シート>	
・ 特色ある学校づくり推進事業	・・・4
・ 外国語指導助手派遣事業	・・・5～6
・ 児童生徒支援事業	・・・7～8
・ 「確かな学力」育成事業	・・・9～10
・ 学校施設耐震化事業	・・・11
4 教育委員会の活動について	・・・12
○ 添付資料	・・・12～16

1 萩市学校教育の基本方針

基本方針

21世紀の萩らしい教育の推進
 自然、歴史、文化をいかした心豊かなひとづくり

中心目標

ふるさと萩市を誇りとし、夢や目標を抱きながら、
 生きる力をもった子どもを育成する。

ふるさと萩市を誇りとする子ども	... ふるさとを調べ、知り、考え、愛し、誇りにする子どもを育てる。
夢や目標を抱く子ども	... めあてをもち、意欲にあふれ、実現に向けて努力する子どもを育てる。
確かな学力を身に付ける子ども	... 知識・技能を習得し、活用する力、学習意欲を高める。
豊かな心をもつ子ども	... 多様な経験、奉仕・体験活動を通して、思いやりの心、豊かな感性を育てる。
健やかな体をつくる子ども	... 運動に親しみ、健康や食生活に関して正しく理解し、実践する力を育てる。

6つの基本的な視点

子どもの側に立った教育の推進	「生きる力」を育てる教育の推進	不易と流行の調和を図った教育の推進	生涯学習体系に位置付いた学校教育の推進	地域に開かれた学校教育の推進	わが萩市、わが学校の教育改革の推進
子どもも主体の教育と教える教育の調和	知・徳・体・食の調和がとれた子どもの育成	松陰精神を基調とした個性教育や情報教育の充実	生涯にわたって学び続ける人の基礎づくりの推進	開かれた学校、家庭や地域との連携の推進	萩らしい特色ある学校づくりの推進

地域や学校の特色を鮮明にした教育の推進

☆萩ならではの教育資源
☆特色ある教育活動



萩らしい教育の推進

“拠点校(コアスクール)構想”による創意と活力に満ちた学校づくり

1 ふるさと萩市を
誇りとする子ども
を育てます

ふるさと学習の展開

- 「総合的な学習の時間」等で、萩市の自然・歴史・文化・人を知り、発信する体験的な活動の実践
- 「萩博物館」等の地域の諸施設の活用
- 地域の人材を積極的に生かす工夫

2 学力の向上を
図ります

「わかる授業」「できる授業」の実現

- 基礎・基本の習得と活用する力の涵養
- 自ら学ぶ意欲、自ら考える力の育成
- 理解を深めるための体験的な活動の導入
- 少人数指導など指導方法の工夫改善
- 新学習指導要領への適切な移行

3 思いやりの心と
豊かな感性を
育みます

道徳教育の充実

- 「道徳の時間」の指導の工夫・改善
 - よりよい価値を受け入れようとする心の育成
- 学校内外を通じたボランティア・体験活動の促進
- 地域の人や社会、自然とのかかわりから、自己認識を高めるボランティア・体験活動
- 家庭教育の支援
- 「学校便り」等での情報提供、啓発活動

4 健康な心と体を
育みます

基礎体力の向上

- 新体力テストの結果をふまえた運動の強化
 - 保健体育授業、スポーツ活動の充実
- 望ましい生活習慣、食習慣の形成
- 基本的な生活習慣の理解と態度化
- 人間尊重に基づいた教育の推進
- 発達段階に応じた系統的・計画的な指導

5 保護者や地域に
信頼される学校
づくりをします

特色ある学校づくりの推進

- 地域の環境や特色を生かす工夫
- 自校ならではの特色を明確にした取組
- 活力と創意にあふれる学校づくりの推進

開かれた学校づくりと学校評価の推進

- 交流活動、教育活動公開、情報公開、情報収集
- 自己評価及び学校関係者評価の推進と学校改善
- 学校ボランティア等の積極的な活用

6 教育の専門家
としての教師を
育成します

教員の資質能力の向上

- 子どもの心に火をつける教師
- 豊かな人間性、強い使命感、情熱をもった教師
- 幅広い教養、専門的知識、技能をもった教師
- 旺盛な研修意欲、チャレンジ精神をもった教師

郷土“萩市”を担う人材を育成する

2 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣 旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年4月から施行されたことに伴い、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

萩市教育委員会では、法の趣旨に則り、「教育委員会事務の点検・評価」を実施し、次のとおり報告書にまとめました。

(2) 点検・評価の対象事業

点検・評価に当っては、萩市基本構想に沿った施策大綱である「自然、歴史、文化をいかした心豊かなひとづくり」に体系化された「幼児及び学校教育の充実」に基づき、「教育行政の推進」、「義務教育の充実」に係る事業を対象とし、平成22年度事業の中から主要5事業を選定しました。

(3) 点検・評価の方法

- ・ 事業点検・評価シートを作成しました。
- ・ 事業点検・評価シートにおいて、事業目的を明らかにし目標を掲げました。また、事業の実施状況に係る事業成果を検証し、今後の取組について検討しました。

(4) 点検・評価の結果

点検・評価の結果については、報告書を作成し公表します。

3 平成22年度事業点検・評価について

この報告書における点検・評価の対象とした事業は、次の5事業です。

- ・ 特色ある学校づくり推進事業
- ・ 外国語指導助手派遣事業
- ・ 児童生徒支援事業
- ・ 「確かな学力」育成事業
- ・ 学校施設耐震化事業

事業点検・評価シート

平成22年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	特色ある学校づくり推進事業		
事業目的	地域や学校の特色を鮮明にした教育の実現に向けて、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。		
目標	各学校において、地域や学校の実態に応じたコアスクール構想を掲げ、特色ある学校づくりに取り組んでいく。		
事業の実施状況	<p>各学校において、多岐にわたるコアスクールを設定し、特色ある学校づくりに取り組んだ。</p> <p>コアスクールの取組としては、松陰教学、ふるさと学習、コミュニティ・スクール、学力向上、環境教育、小中連携、へき地・複式教育、キャリア教育、特別支援教育、地域連携、食育等がある。</p> <p>また、副読本「わたしたちのふるさと萩」（小学校）「郷土萩」（中学校）を社会科や総合的な学習で利用し、萩市ならではの地域や伝統、文化をより深く学び、各校の取組に生かしている。</p> <p>なお、小中の副読本を2か年かけて改訂作業を行った</p>		
事業成果	<p>全ての学校において、地域や学校の実態に応じてコアスクールを設定し、特色ある学校づくりに努めた。その取組については、萩市学校教育研究発表大会や、萩市小・中学校教育研究会における各部会での研修会等で実践発表した。発表を通して実践内容を共有し、参考になる部分を各学校の取組の改善につなげることができた。</p> <p>また、各学校で年度末にまとめる「研究のあゆみ」等にコアスクールの特色ある取組について記載しており、学校教育課のホームページにも全ての学校の「研究のあゆみ」を掲載して、いつでも各学校の取組について情報提供ができる体制を整えている。</p>		
今後の取組	<p>コアスクールの取組を学校評価の具体的重点取組事項に位置づけ、学校関係者評価等による評価結果を参考として、各学校の取組をさらに充実・発展させて特色ある学校づくりに定着させる。</p> <p>取組の深化・充実のためには、特に小中の連携を一層生かした取組が必要であり、保護者や地域住民の協力は不可欠である。学校だよりやホームページ等を活用して、双方向の情報提供・情報収集を行う必要がある。</p> <p>また、事業内容については、学校教育目標とコアスクールとの関連を一層意識して計画し、その具現化については、総合的な学習とも関連させる。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・このコアスクール構想を大局的に長い目で見てどうしていくのかを考える必要がある。 ・地域や学校評議員、保護者等に対しての情報発信も重要である。 ・情報提供できるものを明確にし、学年だより、学級だより、ホームページなど通して、地域や保護者が、自校の取組を知るだけでなく、他校の取組についても、自由に参考にできるシステムが必要である。 		

事業点検・評価シート

平成22年度

施策体系	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	外国語指導助手派遣事業		
事業目的	国際的な視野に立って行動できる児童生徒を育成するため、外国語指導助手を各学校に派遣し、英語教育の充実とともに国際理解教育の推進を図る。		
目標	<p>中学校においては、各学級年間25時間以上の派遣を行い、語学指導の充実を図り、国際交流及び相互理解を目指す。</p> <p>小学校においても、5・6年生については、各学級年間25時間以上の派遣を行い、外国語活動授業を補助するとともに、異文化に触れ、広い視野に立って考え、行動できる児童の育成を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>萩地域3名、川上・旭地域1名、むつみ・福栄地域1名、須佐・田万川地域1名の計6名の外国語指導助手を雇用し、市内すべての学校に派遣した。</p> <p>各小・中学校とも、学級数を基に派遣回数を算出し、中学校では、1学級あたり平均26時間、小学校においては5・6年1学級あたり平均27時間の派遣を行った。</p>		
事業成果	<p>学校の規模により若干の違いはあるが、目標である小・中学校とも25時間以上の派遣を行うことができた。</p> <p>特に小学校では、平成21年度の派遣時数に比べ、1学級あたり5時間増となった。小学校5・6学年における外国語活動(年間35時間)での指導の充実にあてることができた。</p> <p>中学校では、英語の授業を中心に、指導補助を行い、その他にも英語スピーチの指導、英語教育の充実、国際理解教育の充実に大きく寄与した。</p> <p>小・中学校とも、英語活動だけでなく、給食や昼休みなど、ALTとの交流を通して、子ども達の異文化理解に大きく貢献した。</p> <p>また、校内研修としてALTを活用した授業公開を行ったり、一緒に教材作りを行ったりして教職員の研修を深めた。</p> <p>さらに、長州ファイブジュニアの事前研修や地域での英会話教室等、講師としても貢献した。</p> <p>島嶼部や遠距離の学校もふくめ、平等にALTとの活動が行われるよう派遣を実施している。</p>		
今後の取組	<p>新学習指導要領による小学校での外国語活動の完全実施及び中学校での英語の授業時数増加に対応するために、「一日二校派遣」を引き続き実施し、語学指導の充実を図る。新規外国語指導助手が、萩市でスムーズに就業できるよう細やかに配慮し支援する。また、各学校や地域事務所との連絡調整に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>・幼稚園、保育園あたりから身近なものにしていかなければという意見もある。そういうことを考えて、どのくらいのレベルにするには、どのくらいの時間が必要で、先生もどのくらい必要か、大局的に考えて検証していく必要があるのでは。</p>		

・小学校でのコミュニケーション活動中心の授業から、中学校での学習中心の授業へと変わること、ギャップを感じている子がいる。小中のスムーズな接続により、英語嫌いが生まれないよう意識して指導をしてほしい。

事業点検・評価シート

平成22年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	児童生徒支援事業		
事業目的	いじめや不登校等の問題行動の未然防止を促進し、問題を抱えた児童生徒・保護者に対して支援を行う。		
目標	<p>生徒指導の三大課題である「いじめ」「暴力」「不登校」の未然防止・早期発見につとめ、発生率を減少させる。</p> <p>【平成21年度発生率】</p> <p>いじめ：小学校0.23%、中学校0.72%</p> <p>暴力行為：小学校0.04%、中学校0.79%</p> <p>不登校：小学校0.20%、中学校2.15%</p>		
事業の実施状況	<p><input type="checkbox"/> いじめの未然防止と早期発見・早期対応、及び落ち着いた学校づくりに取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「萩市中学校いじめ撲滅宣言（小学校なかよし宣言）」の見直しと実践 ・生徒会を中心とするいじめのない学校づくりへの取り組み ・小中連携による情報の共有 ・行事を通しての人間関係づくり ・道徳の授業を中心とする人権感覚の育成 ・教育相談活動の充実 ・スクールカウンセラーの効果的な活用 <p><input type="checkbox"/> 萩輝きスクールを拠点とする不登校児童生徒への支援活動の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員5名、非常勤の臨床心理士1名の配置 ・不登校児童生徒及び保護者への通所、家庭訪問、相談室登校への支援 ・臨床心理士によるカウンセリング（年間20回） ・生徒指導・教育相談に関する訪問指導（全小中学校を訪問） <p><input type="checkbox"/> 関係機関との連携強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市子育て支援課、児童相談所等と連携した早期対応 ・小中（高）の情報交換を中心とした各種会議の開催 ・家庭や地域との連携を強化する情報交換会の開催 		

<p>事業成果</p>	<p>平成22年度の取り組みでは、小学校における「いじめ」の発生率が増えているが、それらの事案は、いずれも解決済みである。いじめは、どの学校、どの児童生徒にも起こりうることで、小さな事案でも、いじめとしてとらえ、学校として対処しているため、報告件数は増えたが、学校が、適切に対応していることが伺える。また、「暴力行為」については昨年度より低い発生率になっている。「不登校」については、ほぼ、横ばい状態である。</p> <p>□昨年度不登校児童生徒数 34名</p> <p>□輝きスクール通所生徒 14名 (内 学校復帰者数 4名)</p> <p>・3年生7名の進路先 高校進学 6名 家居 1名</p> <p>□【平成22年度発生率・出現率】</p> <p>いじめ：小学校0.91%(+0.68)、中学校0.51%(-0.14) 暴力行為：小学校0.00%(-0.04)、中学校0.58%(-0.21) 不登校：小学校0.27%(+0.07)、中学校2.18%(+0.03) ()内は、対前年比</p>
<p>今後の取組</p>	<p>□不登校対策の一層の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校未然防止のための専門家派遣事業の積極的な活用 ・萩輝きスクールの支援員や相談員の資質の向上を目的とした研修機会の充実 ・学習支援員の積極的活用と卒業後の進路選択に向けた支援 ・福祉や医療機関との連携による福祉的なアプローチの強化 ・萩輝きスクールから学校、家庭、地域への積極的な情報発信 <p>□「いじめのない学校づくり」を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ撲滅宣言」や、「いじめ根絶運動支援事業」による取組を中心とする、児童・生徒が主体となったいじめのない学校づくり ・問題の早期発見、早期対応を図るための各種会議による情報交換 <p>□教育相談活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の拡充と相談機関同士の連携の強化 ・同一校区の小中学校へのスクールカウンセラーの計画的派遣
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーが必要なのは、不登校児童・生徒だけではない。不登校以外の相談活動がもっと大きい意味合いを占めていることもある。 ・不登校児童・生徒への対応については、家庭・福祉との連携が必要である。 ・高等学校も中学校へ情報をもどすなど、中高の連携が必要である。 ・輝きスクールへの通所について、旧郡部の生徒は、交通手段の関係で行くのが難しい。各地域のスクールバスの活用などができないだろうか。

事業点検・評価シート


平成22年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	「確かな学力」育成事業		
事業目的	市内各小中学校を地域ごとに7つのブロックに分け、それぞれのチームが課題に対する研修を深化・充実させ、「萩市学力向上ガイドブック」を作成することにより、児童生徒に「確かな学力」をつけさせる。		
目標	<input type="checkbox"/> 学校体制での授業改善の促進 <input type="checkbox"/> 授業評価の在り方とその活用方法の検討 <input type="checkbox"/> 授業以外の学校時間での取組の充実 <input type="checkbox"/> 家庭学習の習慣化 <input type="checkbox"/> 落ち着いた学習環境づくり <input type="checkbox"/> 学校が主体となった家庭や地域社会との連携・共同体の促進 <input type="checkbox"/> 学力向上の土台となる規則正しい生活習慣の確立		
事業の実施状況	<p>2年次の取組として、平成21年度の研究を深化・充実（7つのチームにおける具体的実践）。</p> <p>おもな内容としては、進捗状況の分析、2年次の課題・目標の焦点化、実施計画の策定等。その後、各チーム毎に、実施計画に基づいて各学校における具体的実践を持ち寄り、数回の会議を開き成果をまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善チーム <ul style="list-style-type: none"> ・学力差に応じた支援の具体的な方策の検証 ・言語活動（表現力）に焦点を当てた授業改善の工夫 ○学習評価チーム <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上に関する評価の観点と内容の吟味 ・授業評価の効果的活用方法の検討 ○授業外活動チーム <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な朝読書の推進 ・学力差に対応した取組 ○学習環境チーム <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境づくりのための学習規律の確立 ・落ち着いた学習環境と学力向上とのつながりの検証 ○家庭・地域連携チーム <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりの推進 ・地域の人材活用の推進 ○生活習慣チーム <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の理解と態度化 ・家庭、保護者と連携した生活習慣の見直しと改善 ○家庭学習チーム <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のためのより効果的な家庭学習の習慣化 <p><input type="checkbox"/> 萩市教育研究発表大会での取組の中間報告と紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員だけでなく、PTA、一般の参加者にも学力向上に向けた取組についてプレゼンを行った。 <p><input type="checkbox"/> 学力向上ガイドブックの作成による成果の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に500部印刷・製本し、各学校の全教員に配付した。 ・データを学校教育課のホームページに掲載し、いつでも成果を確認しあえるようにしている 		

<p>事業成果</p>	<p>□確かな学力の育成 全国学力学習状況調査の結果を平成20年度と平成22年度を比較すると、平成20年度では(対全国比)小学校で国語A、算数A・Bで下回っていたが、平成22年度では小中学校とも全て上回っており、特に小学校において大きく伸びてきている。</p> <p>□教職員の指導力向上 各チームとも年間5回以上のチーム会議を開催し、校内研修も活発に行われた。また、各チームの取組の中で、授業評価シート、読ませたい本のリスト、3つの学習規律、自主学習の手引き等の様々な成果物が作成された。</p> <p>□家庭や地域と連携した学習環境の整備 生活習慣チームでは、PTA合同の研修会を開催し、望ましい生活習慣の確立に向けて活発な研修が行われた。家庭・地域連携チームでは、校区を越えた学校ボランティア人材バンクづくりに取り組んだ。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>□新・萩市学力向上推進プロジェクトの推進 萩市学力向上推進プロジェクトの成果を共有しながら、平成23年度から2年間の計画で実施する。2年間の研究の成果から見えてきた萩市全体の課題を新たに研究の視点に取り込み、下記の3つの力を高めるために、3つの共通実践の視点に立って、6つのチームでの取組を推進していく。</p> <p>○〈3つの力〉 「子どもの意欲」 「教師の指導力」 「家庭・地域の教育力」</p> <p>○〈3つの共通実践の視点〉 「保幼・小・中・高連携」 「学校・家庭・地域の連携」 「夢を育むキャリア教育」</p> <p>○〈6つのチーム〉 「授業改善チーム」 「キャリア教育チーム」 「小中連携教育チーム」 「コミュニケーション能力育成チーム」 「へき地・複式教育チーム」 「家庭学習・生活習慣チーム」</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・学力向上推進プロジェクトでは「家庭との連携」という事が一つの大きな柱となっている。しっかり成果を挙げて欲しい。</p> <p>・朝食がとれない子どもは家庭に問題があったりする。家庭学習は親のしつけも大切である。</p>

事業点検・評価シート

平成22年度

施策名	教育行政の推進	担当課	総務課
事業名	学校施設耐震化事業		
事業目的	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす生活の場であるとともに、災害時における地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、耐震性が確保されていない学校施設の整備を実施し、安全・安心な学校教育環境の整備を図る。		
目標	耐震1次診断の結果に基づき2次診断を実施し、大規模地震により倒壊又は崩壊の危険性がある建物（構造耐震指標[Is値]0.7未満）の耐震化を図る。		
事業の実施状況	<input type="checkbox"/> 改築事業 大島小学校校舎改築工事 大島中学校校舎改築工事 萩東中学校校舎改築に伴う実施設計業務 <input type="checkbox"/> 耐震補強事業 小川小学校校舎耐震補強工事 越ヶ浜小学校屋内運動場耐震補強工事 育英小学校屋内運動場耐震補強工事 <input type="checkbox"/> 耐震2次診断事業…11棟		
事業成果	大島小中学校の併設校舎の改築事業の完了により、また、校舎1棟及び屋内運動場2棟の耐震補強工事が完成したことにより、当該学校の建物の安全性を確保することができた。 【耐震化率】 平成22年4月1日 49.0%  平成23年4月1日 55.9% （全棟数:93棟…うち耐震性がある建物:52棟）		
今後の取組	耐震補強工事による耐震性確保が困難な萩東中学校校舎の改築工事に着手する。 地震防災対策特別措置法の改正を踏まえ、耐震診断（2次）の結果に基づき耐震補強工事を順次着手し、耐震化の加速化を図る。 また、明倫小学校については、山口県より無償譲渡を受けた隣接の旧萩商業高等学校跡地へ移転し、改築・改修整備を行う。		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設は災害時の避難場所としての役割もあり、地域住民を含めた安全確保のため、耐震化の早期完了に努めてほしい。 耐震化事業は財源の問題が大きく関わり、教育委員会の点検評価の対象にならないのではないかと。 		

4 教育委員会の活動について

(1) 教育委員会会議

平成22年度においては、教育委員会会議を14回開催し、42件の議案を審議、可決しました。内容は、次のとおりです。

- | | |
|--------------------------|-----|
| ・教育行政に関する基本方針に関する事項 | 4件 |
| ・教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事項 | 11件 |
| ・教科用図書の採択等に関する事項 | 4件 |
| ・人事に関する事項 | 11件 |
| ・各審議会等委員の任命に関する事項 | 8件 |
| ・教育委員会事務の点検・評価について | 1件 |
| ・重要伝統的建造物群保存地区の決定等に関する事項 | 3件 |

(2) その他の活動

- ・学校訪問 小学校 9校 中学校 6校

小・中学校を訪問し、各学校の教育活動やコミュニティスクールの取り組み等について説明を受け、授業参観での感想や意見を述べ、学校施設の現況についても説明を受けました。

- ・先進地視察

佐賀県佐賀市及び武雄市の小学校を視察しました。

佐賀市立赤松小学校 テーマ「コミュニティスクールの取組について」

武雄市立武内小学校 テーマ「小・中連携による学力向上に向けての取組について」

- ・委員研修 山口県市町教育委員研修会

山口県主催の研修会に参加し、研修しました。

[添付資料]

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

[添付資料]

○特色ある学校づくり推進事業

平成22年度 萩市立小・中学校コアスクール一覧

分類	取組の内容 (学校数)
学力向上	学力向上 (小学校 3校) へき地・複式教育(小学校 1校) 国語力向上(小学校 1校) 少人数教育(小学校 1校) 表現力の育成(小学校 1校)
心の教育 特別支援教育	松陰教学(小学校 1校) 心の教育(中学校 1校) あいさつ(小学校 1校、中学校 1校) 特別支援教育(小学校 1校、中学校 1校)
ふるさと学習 体験活動	ふるさと学習(小学校 5校、中学校 2校) キャリア教育(中学校 1校) 国際理解教育 (中学校 1校) 外国語活動(小学校 2校) 人間関係づくり(中学校 1校) 伝統文化の継承(小学校 1校、中学校 1校)
体力向上 食育・健康教育	食育(小学校 1校) 健康教育(小学校 1校、中学校 1校) 環境教育(小学校 1校、中学校 1校)
小・中連携 地域との連携	小・中連携(小学校 3校、中学校 5校) コミュニティ・スクール(小学校 1校) 地域との連携(小学校 3校 中学校 4校)

○外国語指導助手派遣事業

外国語指導助手(A L T)派遣状況

(単位 時間)

		学級数	外国語活動 授業時数	ALT 活用 授業時数	ALT 活用授業時数 (1学級あたり)
平成21年度	小学校	47学級	1,224	1,051	22.3
	中学校	67学級	7,479	1,809	27
平成22年度	小学校	45学級	1,441	1,223	27.1
	中学校	68学級	7,213	1,817	26.7

1. 教育指導

(1) 平成22年度萩市立小・中学校研究主題及びコアスクール一覧

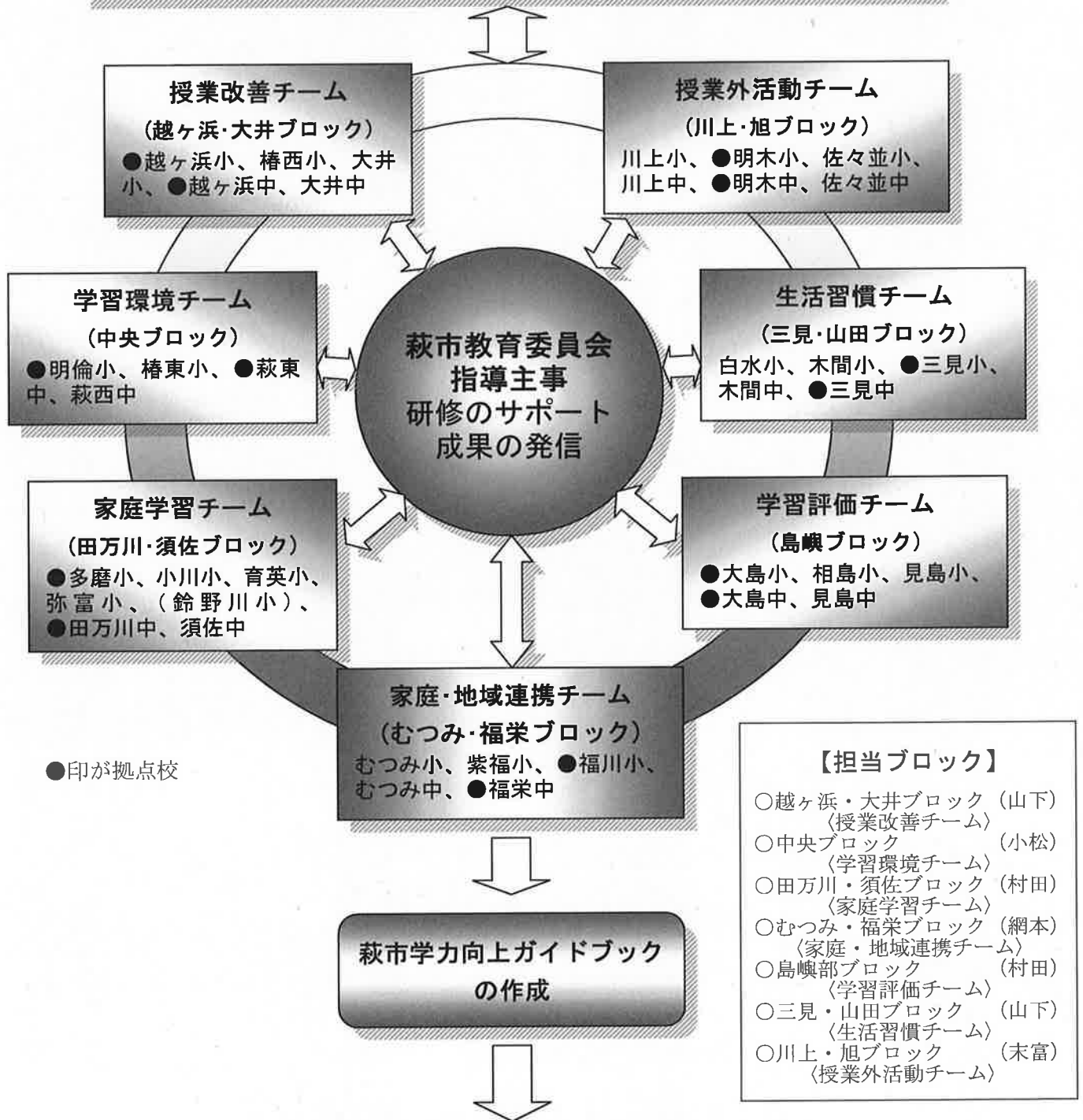
学 校 名	研 究 主 題	コ ア ス ク ー ル	
小	明 倫	学んだことを活用し、高め合う子どもの育成 ～自分のことばで伝え合う表現の場の工夫～	松陰教学 一人ひとりの課題に応じた教育
	椿 東	自分の言葉で考え、自分の思いや考えを表現できる 児童の育成（2年次） ～算数的コミュニケーション活動を通して～	食育教育
	越ヶ浜	温かくかかわり合いながら、算数を愉しむ子どもの育 成（2年次） ～子どもの分からなさに寄り添う算数科授業をつくる～	学力向上 ふるさと教育
	椿 西	読解力の向上をめざす授業づくり（2年次）	コミュニティ・スクール
	白 水	自ら課題をもって、学びを楽しむ児童の育成（3年次） ～語彙を豊かに表現し、伝え合う白水っ子～	確かな学力向上 環境教育
	木 間	豊かな心をもち、主体的に活動する木間っ子の育成 （3年次） ～自分の力を課題解決に生かせる子どもをめざして～	一人ひとりの確かな学力を伸ばす小・中 連携教育 地域人材を生かしたふるさと学習
	三 見	自ら考え、伝え合い、学び合う子どもの育成 ～確かな学力を身につけさせるための授業づくり～	確かな学力を身につけ豊かな心を育む小 中連携教育 コミュニケーション能力を育成する外国語活動 地域に学び、地域を愛する「ふるさと学習」
	大 井	伝え合い、認め合う力の育成（1年次） ～一人ひとりの児童理解を基盤にして～	児童の成長支援活動 あいさつ運動
	大 島	一人ひとりが自分の考えをつくり、互いに高め合う授 業づくり（1年次）	小中連携教育
	中 学 校	相 島	子どもたちの生きる力を育み、一人ひとりが生き生 きと活動する学校をめざして～読む力と伝え合う力 を育成する～
見 島		確かな学力の定着をめざした指導のあり方（3年次）	小中一貫教育 「地域を学ぶ」「地域に学 ぶ」ふるさと学習
川 上		伝え合い、学び合う授業づくりをめざして（3年次） ～算数科学習を通して～	地域の人・自然を大切にふるさと学習
小 川		豊かな学びをめざす児童の育成（1年次） ～言語活動の充実をめざした国語科における授業づくり～	地域の人・文化・自然・産業に学ぶふる さと学習
多 磨		生き生きと表現し、伝え合う力を育てる指導の在り方 （4年次） ～国語科の学習を通して～	一人ひとりの個性・特性を伸ばす特別支 援教育
むつみ		自らの力で学習や生活を切り拓く児童の育成（3年次） ～言葉を大切に、「よむ力」や「交流力」を高める指 導の工夫～	家庭・地域と連携したふるさと学習と学 力向上推進
育 英		自分に自信をもち、よりよく生きようとする主体的な 子どもの育成（2年次） ～ふるさとの自然や文化、人とのかかわりを通して～	伝統文化の継承と発信
弥 富		自分の思いを生き生きと表現し、伝え合う子どもの 育成（1年次）	地域と一体となって推進する特色ある教育
鈴野川		*休校	*休校
明 木		自分の考えをしっかりともち、豊かに表現する子どもの育成 （1年次） ～各教科（算数科）を中心とした言語活動の充実を通して～	国語力向上

学 校 名		研 究 主 題	コ ア ス ク ール
小 学 校	佐々並	豊かなコミュニケーション能力を身につけ、主体的に学ぶ児童の育成 ～外国語活動の授業づくりを通して～	外国語活動
	紫 福	一人ひとりが生き生きと表現する児童の育成（2/4年次） ～自分の思いや考えを自分の言葉で表す子をめざして～	学校田活動を中心にした地域との交流学習 表現力の育成に力を入れた教育
	福 川	主体的に学ぶ力を身につけ、友と学びを深めようとする子どもの育成 ～「学びのスキル」を育てる複式授業のあり方～	健康安全教育
中 学 校	越ヶ浜	表現力豊かな生徒の育成（3年次） ～基礎・基本の徹底を通して～	地域との連携・協力 地域の伝統文化継承
	木 間	豊かな心を持ち、主体的に活動する木間っ子の育成（3年次） ～自分の力を課題解決に生かせる子どもをめざして～	一人ひとりの確かな学力を伸ばす小・中連携教育 地域人材を生かしたふるさと学習
	三 見	自ら考え、伝え合い、学び合う子どもの育成（5年次） ～確かな学力を身につけさせるための授業づくり～（2年次）	確かな学力を身につけ豊かな心を育む小中連携教育 地域の伝統文化「神楽舞」継承
	大 井	主体的に学び、共に生きる心豊かな生徒の育成 ～感じる心、伝える力を育む支援の工夫～	健康教育及び読書活動によるこころの教育
	大 島	一人ひとりが自分の考えをつくり、互いに高め合う授業づくり	小中連携教育
	相 島	*休校	*休校
	見 島	確かな学力の定着をめざした指導のあり方（3年次） ～学び合いの推進～	小中一貫教育 「地域を学ぶ」「地域に学ぶ」ふるさと学習
	萩 東	自らの生き方を考え、仲間と共によりよく生きようとする生徒の育成（4年次） ～確かな学力の育成と、豊かな人間関係づくりのための支援の研究～	あいさつ運動
	萩 西	「確かな学力」を身に付けた生徒の育成 ～温かな人間関係を基盤とした教育実践を通して～	地域連携教育・特別支援教育
	川 上	社会の中でたくましく生きる生徒の育成（2年次） ～キャリア教育4つの力の育成を通して～	キャリア教育
	田万川	一人ひとりを大切にした確かな学びの教育の推進（2年次） ～学び合いを重視した授業展開の中で～	学校・保護者・地域による協働実践 一人ひとりを大切にした確かな学びの教育
	むつみ	自ら学び続ける生徒を育てる教育の実践（2年次） ～基礎学力の向上と人間関係づくり能力の育成をめざして～	ふるさとに学び、ふるさとに汗するふるさと学習 基礎学力向上
	須 佐	主体的に学び活動する生徒の育成（2年次） ～思いやりの心を育む人間関係づくりを基盤として～	人間関係づくり教育
	明 木	自ら学び、豊かにかかわりあう生徒の育成（2年次） ～自己を見つめ、認めあい、学びあう学習指導の工夫～	環境教育 地域伝統文化継承
	佐々並	学びへの意欲を高め、主体的に活動する生徒の育成 ～発想を豊かにし、思考を深めるための書くことの充実～	地域とのつながりを生かした教育
福 栄	学び合い、高め合う生徒の育成（1年次） ～授業づくりと地域連携の工夫をとおして～	国際理解教育	

萩市学力向上推進プロジェクト事業

萩市教育委員会

チームによる研修の深化・充実と研修成果の波及



市内各学校・家庭・地域への波及